

題名 広島平和記念式典派遣事業に参加して考えること。

鹿沼市立北犬飼中学校 (氏名) 菊地 菜央



今回の派遣事業で戦争はどれだけ悲惨で残酷なものなのか実感することができました。昨日までの楽しい日常がたった1つの爆弾で一瞬にしてこわされてしまったり、その後生き残った人も後遺症や差別に苦しんだり、戦争をして得られるものは何もないということが分かりました。特に心に残っているのは、資料館に展示された被爆者の方の証言や遺品です。今まで、教科書やテレビでしか見ることができなかったものを見て、77年前同じ日本でたくさんの方が苦しんだことを実感できました。原子力は、大きなエネルギーとして生活に利用されているが、人殺しの材料にもなることが分かりました。私たちは、過去に目をそむけず、今後戦争や核兵器の利用を防ぐため、伝承することが大切だと思います。